

まちがど★ ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの地域の問題をお届けしています。広報広聴課☎51-0123内線2823へお便りください。

市長への 手紙から

分別収集の徹底で ごみの減量化を

大淵にお住まいの塚越廣治さんから、ごみ減量についてのお手紙をいただきました。

分別収集を徹底すれば、ごみの減量につながるのでは、とのお便りです。

〈市長への手紙〉

一般廃棄物のごみ問題は、私たち一人一人がその認識を新たにしていって取り組まない限り、今後大きな社会問題となることでしょう。

一つの策として、以前に分別収集を始めたころの住民パワーと、各地区の自治体組織とを活用して、ごみの分別収集を強化徹底してみてもと考えます。

決められた日に決められたごみをきちんと出す。子供たちによる個別訪問の古紙回収などの徹底で、ごみの減量、ひいてはリサイクルへとつながるのだと思います。

現在、住民の間に着実に盛り上がっているごみ減量についての認識を、確かな実行力として展開してみたいかがでしょうか。



塚越廣治さん
(大淵174-80)

〈市長の答え〉

ごみの量は、毎年ふえ続けています。それとともに質的にも多種多様化し、その処分や処理がますます困難になってきています。市民一人が一年間に出すごみの量は、三百六十キログラム。その処理費用は、一年間で十四億六千万円です。この金額は、四階建ての校舎なら二つ、二十五メートルプールなら十九もできる金額なのです。

こうしたことから、市では昭和五十六年から資源ごみの分別収集を実施し、ごみの減量・資源化を図ってきました。今後はもっと細分化が必要になりますので、分別収集の徹底を進めたいと思います。また「富士市廃棄物減量等推進懇話会」を発足。一層減量化に対応していきます。

市民の皆さんにもごみの実情を再認識していただき、ごみ減量に取り組んでほしいと思います。

5月30日は
ゴミゼロの日



突然ですが おじゃまします

network

①

どこの家にも、捨てるにはも

ったいないけれど、もういらな
いというものが、捜してみると
意外にあるものです。子供の古
着やおもちゃ、そして、たくさ
んあっても困る石けんやシート
そんな品物を持ち寄って、フリ
ーマーケットが開かれます。

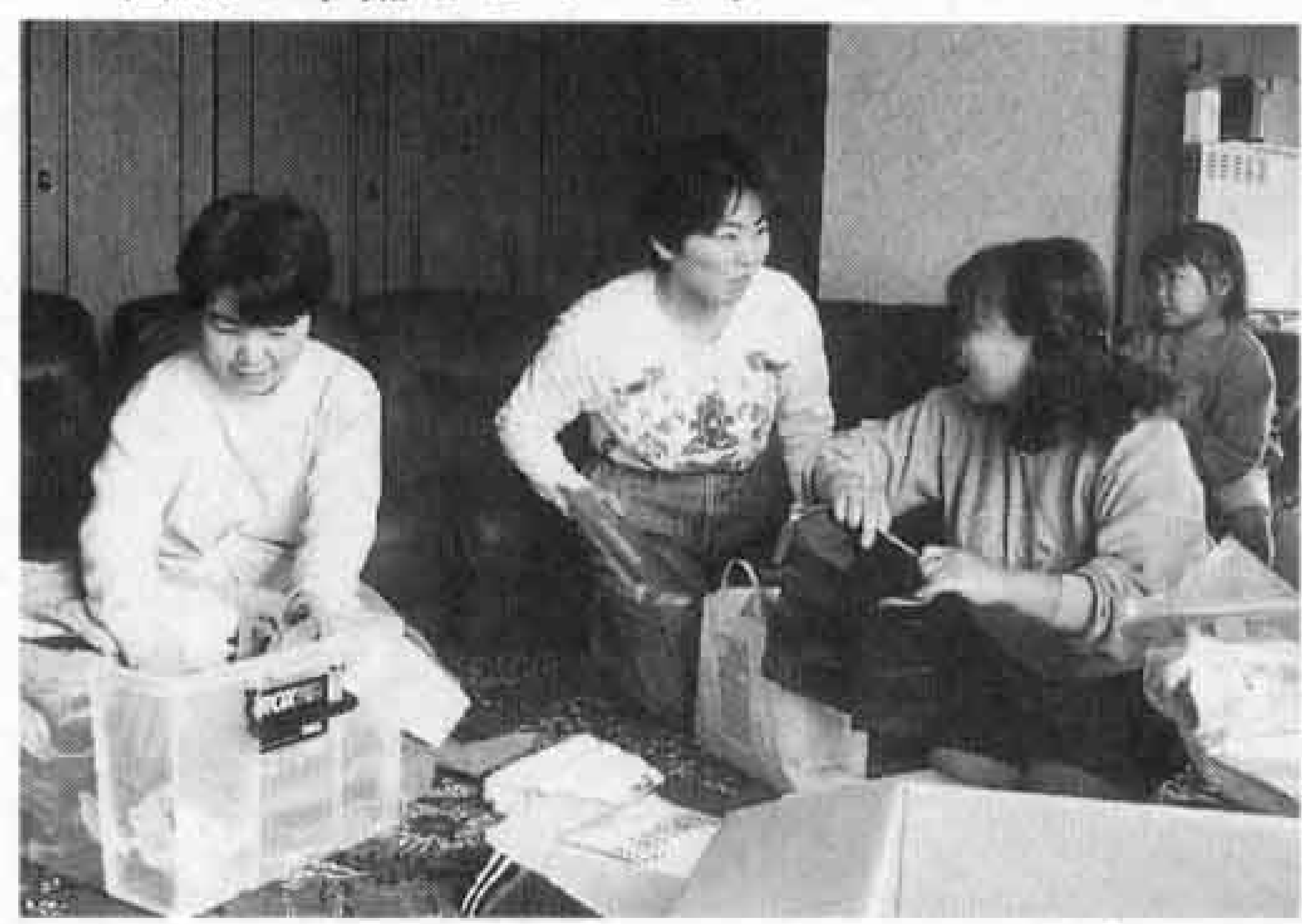
企画したのは、依田橋町の主
婦小森英子さん。「近ごろ、各
地でフリーマーケットの話が聞
きます。使い捨ての時代から、
リサイクルの時代へと、考え方
が変わってきたのだと思います。
自分の家では不用品でも、よそ
の家では欲しい品物ってありま

すよね。

フリーマーケットが、生活の
むだを見直すきっかけになっ
たり、資源の節約やごみの減量に
つながればうれしいです。衣が
えの時期をねらって、春と秋の
二回開きますが、だんだん出品
希望者がふえてきています。楽
しい雰囲気のマーケットです。
この輪が、ますます広がってい
くといいですね。

春のマーケットは、五月九日
午前十時から中央公園で。秋は、
十月を予定しています。詳しい
ことは、小森さんまでお問い合
わせください。☎51-4177

▽出品の準備をしています



「突然ですが、おじゃまします」のコー
ナーは、皆さんのネットワークづく
りに役立つ、楽しい内容の情報をお届
けたいと考えています。

新しく会員を募集したい人、仲間づ
くりをしたい人、〇〇会を開くので見
にきてほしい人など、お便りください。
ただし、営利目的はお断りです。